



2018年9月4日

各位

会社 ナブテスコ株式会社
代表 代表取締役 寺本 克弘
(コード番号 6268 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部 黒須 昭仁
(TEL 03-5213-1134)

2018年12月期第2四半期連結累計期間の のれんの減損損失計上についての補足説明

当社が2018年7月31日に発表したのれんの減損損失の計上について、下記の通り補足説明をいたします。

1. 減損対象子会社
OVALO GmbH (ドイツ、100%子会社)
2. OVALO GmbH 社概要
自動車産業向けの波動歯車機構減速機によるシステム製品の開発・製造・販売を目的として、2006年にドイツ Harmonic Drive AG の子会社として設立。
主にシャシー・システムとエンジン・システム関連製品に強みを持ち、ドイツ自動車メーカーの Tier 1 サプライヤーとして、その技術力は高い評価を受けています。
3. 買収の概要

買収目的	1. OVALO GmbH 及びその子会社である adcos GmbH が持つモーター、コントロールユニット一体製品の開発能力を活用し、当社製品のシステム化・メカトロニクス化を加速させる。 2. OVALO GmbH の拠点を新たな欧州開発・生産拠点設立に活用することも検討する。
買収時期	2017年2月
買収価格	82M€ (約100億円)*1
のれん	50M€ (約60億円)
2017年売上	約25M€ (約30億円)

*1 INTERGLOBAL 社から OVALO 社に対する貸付債権の取得価格を含む。

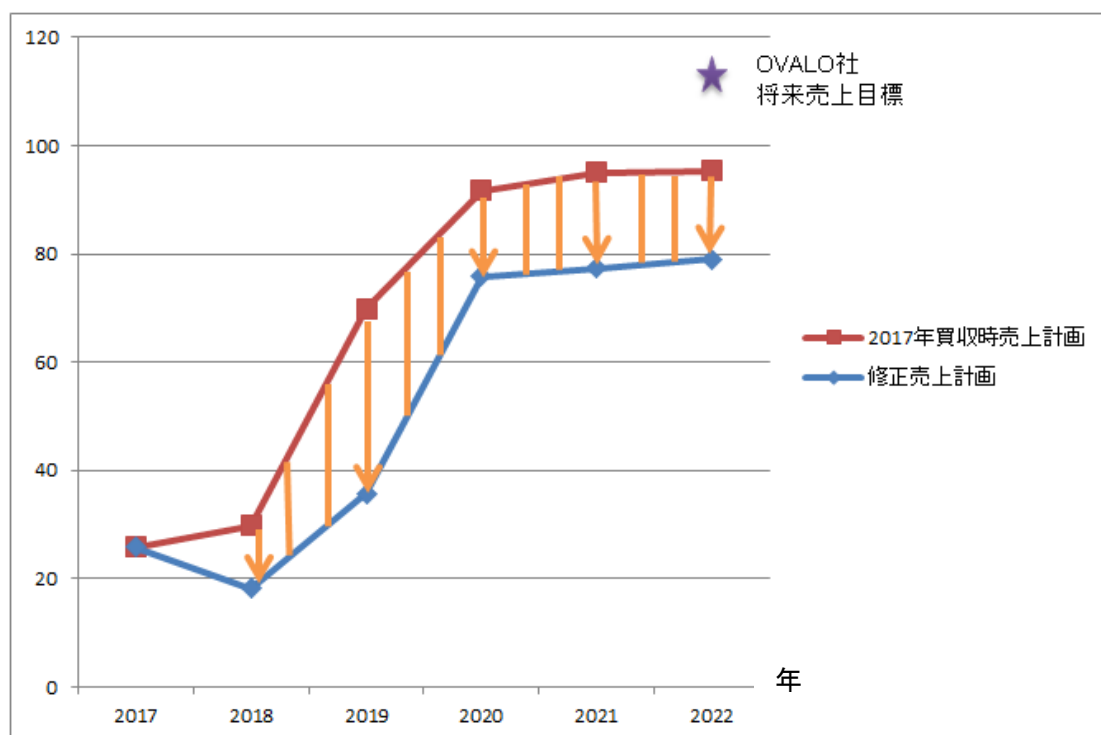
4. 減損に至った経緯

2018年12月期第2四半期において、欧州各自動車メーカーの主要プロジェクトの遅れにより、当初予定していた OVALO 社の売上計画(下記グラフ内赤線)が、1~2年後ろ倒し(下記グラフ内青線)になることが判明いたしました。

当該事業環境の変化について、国際会計基準(IFRS)に基づくのれんの減損テストを実施した結果、将来回収可能価額が帳簿価格を下回ったことにより、減損損失を計上することとなりました。

なお、のれん減損テストにおいては、2021年以降の売上を2020年から年率2%成長として回収可能額を計算しております。

のれん減損テストのベースとなった買収時売上計画と修正売上計画
(百万ユーロ)



回収計算に適用される税引前 割引率(WACC):17.7%

【ご参考】IFRS におけるのれんの取扱い

のれんの償却を行わず、減損の兆候がある時、又は、減損の兆候の有無に関わらず毎期一回減損テストを実施し、のれんを含む各資金生成単位グループの帳簿価額と割引後キャッシュ・フローである回収可能価額を比較し、割引後キャッシュ・フローである回収可能価額まで減損損失を認識する。

(注)上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上